

総務経済常任委員会会議記録（概要）

令和6年3月26日（火）

開 会（午後3時49分）

**【議 事】**

○議案第52号 副市長選任の同意を求めることについて

**【補足説明】** な し

**【質 疑】**

石本委員

いろいろこれからちょっと御提案したいこともあるので、ちょっとまず一旦協議会でこれからの委員会運営についてちょっと御議論していただければと思う。

休 憩（午後3時52分）

（休憩中に協議会を開催）

再 開（午後4時21分）

石本委員

質疑の前に小野塚市長と中村副市長をぜひ今回説明員として、委員会に御出席していただきたいので、よろしく願いいたします。

佐野委員長

石本委員より説明員として小野塚市長、中村副市長の出席を求めたい旨の申し出がありました。ここでお諮りいたします。

小野塚市長、中村副市長に説明員として出席を求めることに御異議ありませんか。

(委員了承)

佐野委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。よって議長に報告し、小野塚市長、中村副市長に説明員として出席を求めることといたします。

休 憩 (午後 4 時 2 3 分)

(休憩中に協議会を開催)

再 開 (午後 4 時 4 9 分)

佐野委員長

小野塚市長、中村副市長、御足労いただきましてありがとうございます。何卒よろしく願いいたします。

石本委員

市長、副市長どうもお疲れ様でございます。市長に伺いたいと思います。まず市長はその藤本市政 1 2 年をどう総括されてるんですか。理由はですね、何でそれ聞くかっていうと、今回提案された中村副市長の経歴を見ると、特別職 9 年間やってるんですが、その前の平成 2 4 年の 4 月から総合政策部長、今の経営企画部長ですよね。藤本市長はその半年前の平成 2 3

年10月30日に就任されてますんで、ある意味、中村副市長は藤本市政のど真ん中に立っていた方で、大黒柱中の大黒柱なわけです。ですから、まず藤本前市長の12年ってのは、どういうふうに総括されてるのか。これは市長にまず伺いたいと思います。

小野塚市長

12年間様々あったかと存じます。もちろん私は藤本前市長と選挙をやりましたので、違う主義主張の部分もあったかと思いますが、12年間にわたり議会の御承認をいただきながら市政を担われてこられた方でいらっしゃるから、そこに関しては、よい部分もあるでしょうし、私から見ると、そうじゃなかった部分もあったので、この度市長選挙に出たわけでございますので、一概に全てを、12年間を一つで総括するのはなかなか難しいかと存じます。

石本委員

市長就任後、中村副市長とは藤本市政の12年間をどのように総括されて、どういう議論があったのか。それでいつ頃そういうことされたのか伺いたい。

小野塚市長

藤本前市長の12年間に関して、私と中村副市長の間で何か総括をするということは特段行ってはおりません。

石本委員

市長はここにも書いてあるとおり、所沢を変えるときが来たと言って、

市民にある意味変化を起こすということを訴えて受かってきたわけである。御就任されてるわけだ。一般市民からすれば、所沢市では政権交代が起きたというふうに認識してる方も、私は相当数いらっしゃると思うんですね。そうすると、政権が交代したにもかかわらず、その前市長のど真ん中にいた方を、任期が切れるまではその副市長の任にいていただくってことは分かる、しょうがない、みんな理解するでしょうけど、新たにもう1回提案されてくるってことに対して、市民に対してはどういうふうに御説明されるんですか。当然これ聞かれる話だと思うんで、ちょっと伺いたいと思います。

小野塚市長

10月の市長選挙で、私は市民の皆様からこの市長の任を賜りました。副市長以下市の職員の皆様というのは、いわゆる事務方でいらっしゃいますから、それは民意をいただいて市長の承認を賜ったものの意を受けて職務をしていただく方々であります。確かに、中村副市長は前市長の時代から、石本議員のおっしゃるとおり、市の要職にお務めだったかもしれませんが、それは事務方として要職にいただけであって、任をいただいた市長が変わったということにおいて、そこで職員としてその任にあった方を変えるというのはイコールではないかと存じます。

石本委員

確かに、副市長というのは事務方のトップなわけだが、市長というのは日頃多忙で、当然細かいところまでは目配りできないところを、副市長と

いう職は多分補っていく職である。だから副市長ってのは相当重い職なわけだ。だから議会の同意を求めるといふふうなことになってるわけであって、そこで伺いたいんですけど、さっき藤本市政の12年間の総括とかそういうものを中村副市長と話されてないということだったが、そうすると中村副市長が今までどういう政策を藤本市政のもとで行ってきたかについては、聞いてなかったということか。ここ大事なところだと思うので、ちょっと伺いたい。

小野塚市長

繰り返しになりますが、事務方でいらっしゃいますから、中村副市長であろうと、他の市の職員や部長であろうと、職員は前任の市長の指示の下やられていたわけであって、そこに中村副市長が、それは事務方としてやられていたわけなので、私が市長の任を賜って、私が今度は事務方である副市長以下の方々に指示を出させていただくわけでありますから、そこにに関して、副市長と前市長の政策について総括する必要はないかと存じます。

石本委員

参考までに伺いたいが、当摩元市長が就任したとき結局最終的に西久保元副市長を提案されてきて、議会が同意をして西久保元副市長が就任されたわけだが、私が当摩元市長からはっきり聞いているのは6人目だったって話だった。なかなか斎藤元市長の4期16年というのがなかなか、いろいろ付き合いがあり、今回伺いたいのは、今回副市長を提案するに当た

って市長は何人の方に当たったのか。1人目だったのか、そこをまず確認させていただきたい。

小野塚市長

1人目です。

大石副委員長

市長、副市長ありがとうございます。市長にお聞きしますが、私、所沢市の財政が本当に心配である。市議会議員としてやっぱり責任があって、本当にこの所沢市の財政が今後どうなるんだろう、今までなかったことが予算編成が私はされてるといふふうに思うし、例えば3月末で財政調整基金が75億1,000万円、さっき補正後で幾らか確認したら約75億1,000万円、3月末が。ところが、令和6年度予算で繰入れをすることにより、12億6,000万円になるということで、大体62億5,000万円ぐらいは使ってるんだろうな。では、このお金がなかったら、令和6年度の予算編成って本当にできなかつたんだろうな。これが持続可能な所沢市の財政運営なのかっていうのが一番心配である。だから、小野塚市長が民意を得られて、藤本市長も公約で掲げられてましたけど、給食費無償化とかを入れて、そして高校生まで医療費無償化って18歳まで医療費入れられて14億円ぐらい、大体使われるのは民意なので我々も納得できるところである。だけど、令和6年度に限っては、藤本市政で行われてきた事業がやはり色濃く残っていて、持続可能な財政運営をしていくんだったら、これを削減していくしかないんじゃないかなっていうふうに私は思っ

ている、感じている。だから、市長が最終的に予算の査定をされる方なので、ところがやはり、聞くところによると一緒に、予算編成の査定の際のヒアリングっていうか説明を財政課からされるっていうふうに聞いている。2人で一緒に。そうすると持続可能な運営をしていく中で、申し訳ないがやっぱり藤本前市長がやってきたことの、その責任っていうか我々ももちろんあるけど、やっぱり石本委員が言った、ど真ん中で活動されてきた中村副市長がいることで、なかなかこれまでの政策が否定というか、ストップし、立ち止まって考えることができにくくなるんじゃないかなというふうに、やっぱり人間の心情として思う。だから、小野塚市長はこの点いかがお考えですか。だから、持続可能な財政運営をしていく中で、前任者からの政策がよかれと思って一生懸命やられてこられたと思う、中村副市長だって。その中で、なかなかそれは否定を今度しづらいじゃないか。もちろん所沢市のために思い切って財政へ必要なものは必要だ、これは泣く泣く切らなきゃいけないっていうふうになるかもしれないが、そのところが、人として非常にやりにくくなるんじゃないかなと思ひ、忠告という、私の懸念してるところである。いかが小野塚市長はお考えか伺いたい。

小野塚市長

所沢市の財政につきましては御指摘のとおりでしっかりとやっていかなければなりません。今回の予算査定におきましても様々やりました。また、収入におきましては相当厳しく見込んでおりますので、税収等につきましては、また変わってくるかと存じますが、いずれにいたしましても財

政については非常に重要なものだと思っております。御指摘の点でございますが、私は市長の任を賜りまして、この5か月近く中村副市長と一緒に仕事をさせていただいておりますが、これは明確に申し上げますが、私が市民の皆様方と約束した公約を進めるに当たり、そのことに対して中村副市長が反対をしたり、また止めにかかったということはありません。むしろ、どう進めていくかということのを的確に、私から見ても的確に対応していただきまして、大変信頼できる人物であると私は認識しております。公約実現に向けてその原動力となる人物であると私は考えたので、この度御提案申し上げてる次第でございます。

大石副委員長

答弁されてない部分がありまして、例えばですよ、今日こういった所沢市マチごとエコタウン推進計画とか所沢市脱炭素ロードマップってもう立派な計画書ができて、配られた。ずいぶん、力入ってるな。ずいぶん立派な資料が配られたから余計心配になる。先ほども、給食費無償化と18歳までの医療費無償化とか、そういったものを、中村副市長が推進していただけたんでしょう。前の市長も給食無償化なんかおっしゃってましたから推進していただけたんだと思うが、財政も厳しめに見てるのも、私も意見で申し上げたけども、法人税収入とかマイナスで見込んでたりするので相当厳しく財政は絞ってるなっていうふうに財務部の仕事である。厳しく歳入を見込むというのは、歳入欠損なつてはならないから。だから、職員の皆さんは大変仕事されてるなつて思うけども、実際にはこういった申し



訳ないけど、脱炭素だとか、脱カーボンだとかそういった部分って、もう太陽光パネルとかEVバスとか今回ずいぶん議論したが、正直言って20年30年先どうなるかわからない、今のところ。だから、それがごみになるかとか、どうやって処分するかという計画もできてない。計画が本当に山口公民館に太陽光パネル付けて二酸化炭素排出量削減できるのかってね。だってところざわ未来電力の電気使っているのだから。だから、その辺の整合性が感じられなくて、前市長の政策はそのまま、設計もしてたから工事もしようがないから、やりましようみたいな感じについてるんで、そこを切ってかなきゃいけないと今度は。今後、財政がよっぽど好転しない限り。まち・ひと・しごと創生総合戦略がよくできてると思うので、今までやってきたショッピングモールができれば数億円と歳入が入ってくると思うが、いろいろなCOOL JAPAN FOREST構想もしかり、都市利用転換のしかりだが、そういった中で、本当に前の市長の側近がそばにいて、財政を厳しく査定できるか、もう一度お答えいただきたい。

小野塚市長

先ほど石本委員にもお答え申し上げましたが、藤本前市長がおやりになった政策で、もちろん私と反するものがあったかもしれませんが、もちろんよいものもあったわけでございます。それを踏まえて、この度、査定も行いました。また、査定を行う中で、これまでの継続性のものもあるかと存じます。いずれにいたしましても、私が全て1件1件査定をした上でございますので、藤本前市長がやってたからしようがなくやるといふもの

ではなくて、私の判断として継続をさせていただいておりますので、来年度においてはそういう予算で査定をさせていただきましたが、今後について私が判断の上で、これは必要ないと考えるものがあるならば、査定をさせていただき、それを止めさせていただくということも今後あるかもしれませんが、本予算におきましては、私の判断で続けさせていただいたということでございます。

大石副委員長

来年度はそういう形で進むんでしょうから、決意で。ですから我々は、私は特にこの12億6,000万円ぐらいになった財政調整基金の金額が、もうちょっと切っとけばよかったのになつていうふうにすごい感じたから今もこうやって質疑をさせていただいてるので、本当に他の人じゃ駄目なのか。我々が、私が聞きたいのは。申し訳ない、本人がここにいてなかなか私だって聞きづらいけれど、委員会に付託されて、本人の前で言わなきゃいけないけど、人事を一新して、新しい所沢市をつくっていかうっていうふうに、申し訳ないが、前の前の副市長は市長が変わったときにお辞めになったりとか、優秀な人だったけど、そのところは人事を新しくして、所沢市を新しくつくっていかうっていう考えにはならなかったのか。

小野塚市長

私は中村副市長が適任だと思っております。私は市長の任を賜っている者として、何よりも市民の皆様のことを第一に考えた次第です。私は市長

の任をいただくにあたり市政を、先ほど御指摘いただきましたとおり、所沢市を変えてほしい、市政を変えてほしいと市民の皆様方の思いをいただき、任を賜りました。変えていくには、また新しいことをしていくには、これまでなぜそれを行っていたかを知らなければならないと考えます。市役所の外から見ていたのでは分からないこと、知らなかったこともあるかと思えます。また、行政は継続する部分も大切であります。変えるところ、新しくすることがある一方、継続されるところも多くございます。中村副市長は行政を担う所沢市役所の事務方、職員のトップである副市長として4年間その立場にあった唯一の人であります。市長も変わり、また副市長まで変わってしまったら、新しいことはできたとしても、継続していかなければならない部分を見落としてしまいかねない。私はそれを危惧した次第であります。そのことによって、市民の皆様方を不幸にさせてしまうことがあってはなりません。まして、私は就任5か月足らずであります。よく1年たってやっと分かるという言い方をされる方もいますが、1年たって一周してないと分からないところも、まだそれすらも分からないという状態です。その意味におきましても、先ほど来申し上げておりますとおり、中村副市長はそれをサポートしていただける唯一の経験者であります。その意味におきましても、私は中村副市長が唯一の候補であると思っております。

大石副委員長

だからこそ、だからこそ、お変わりになっていただいたほうが、新しい

所沢市をつくれるんじゃないかなって私は申し上げてるだけで、ですから、今までしっかり御答弁されたので申し上げますが、何も分からない人が市長になって、何も分からない人が市長になったんですよ。何も分からない人が市長になって、それで今までの継続する部分も必要だから、今までの中核にいた人にやっていただくというふうになったら、それさえも何がいいか悪いかなかなか判断しづらいじゃないか。人事を一新し、新しい副市長の下で、みんなと一緒にそのメンバーで、またもう一度、一から考え直したほうが私はよろしいかと思うが、そのようにしっかり答弁されますが、市長はいかがお考えか。

小野塚市長

私は市民の皆様から任をいただいて、公約という約束を市民の皆様としております。私がやる任は、その約束した公約を進めていくことです。一方で、先ほども申しましたように、行政は継続の部分もあります。その部分については、たしかに私は知らない所があるかもしれません。それを4年間副市長として仕事をしていた人物が中村副市長であります。それはまさに唯一無二であります。なので、私は新しく変えていきます。市民の皆様との約束を踏まえ、新しいことをやっていく過程において、一方で行政の継続性を副市長の任をしていた人物と一緒に進めていくことは、市民の皆様を幸福にすると思う次第であります。

石本委員

大変失礼な言い方と承知の上で言うが、給食無償化も18歳医療費無料

化も藤本前市長も公約に掲げたわけである。これで、前市長の時の副市長がそのまま留任となったら、失礼だが一般市民は、所沢を変えるときが来たと言っても、何が変わったのと思うのではないか。要するに、藤本前市長が選挙で勝っていたとしても、給食費無償化も18歳医療費無料化もやっている。たしかに、給料の30%カットとか、一部そういうことも行われているが、そんなことは書いて選挙するはずはないが、藤本前市長が任命した副市長を任命すると公約を掲げたら、おそらく相当の票が離れたと思う。何が言いたいかというと、それで本当に一般市民に説明が通用すると思うのか。先ほども言ったが、所沢市は政権交代をしたわけである。前市長の時にど真ん中にいた副市長は、国でいえば官房長官のようなものである。それも変わらないで、政権交代したけど、そのままとなった時に、市長に投票してくださった市民に、きちんと納得いただけるという認識でよいのか。

小野塚市長

先ほども答弁しましたが、副市長以下の職員は事務方ですので、判断するのは市長であります。市民の皆様からの任を賜って、決断をするのは市長ですので、その市長が変わったのですから、その意味において、また政策について、藤本前市長が継続して、もしかしたら同じことをしていたとしても、市民の皆様がどう感じるのかは、市民の皆様の御判断かと思えます。ただ、私は市民の皆様から信任いただいて、所沢市政を変えると言って、この任をいただいている次第でございます。

石本委員

先ほどの大石委員からの質疑に絡むが、私は所沢市の職員は相当優秀だと思っている。今まで、例えばだが、私が初当選した半年後に当摩元市長が誕生した。斎藤元市長はその年の10月29日で退任されて、当時の加藤副市長、当時は助役という名前から副市長という名称に変わった直後だったが、加藤助役と当時の小澤収入役、今の会計管理者は辞表を出した。当摩市長の下で、3か月間、副市長は空白であった。2月1日、1月30日にたしか、当摩市長の初当選した12月定例会では、様々な政治的背景があり、副市長人事を提案できなくて、1月30日に臨時会を開いて、当時の西久保副市長が提案されて副市長に就任されたんですが、別に私あのおとき思っで覚えているが、所沢市の職員と本当部長たちは優秀で、それこそ中村副市長は当時は職員だったと思うが、3か月ぐらいいなくても所沢市役所はきちんと回った。何言いたいかっていうと、事務方がいなければ絶対成り立たないってことはないと思うが、そこまで決め打ちで、ほかの方も探した上で、その中村副市長が最後に選ばれたっていうんだったらよいが、この方お1人しか選ばなかった、探さなかったということで、もう少し変化ということ言ってまで市長に御就任されたんだから、その辺ってそういう発想は全く及ばなかったのか。だって、先ほども答弁があったが、副市長とは藤本前市長との12年間を総括してないって話もあったじゃないか。あんまりそういう話もされてないけど、私は決め打ちしてるみたいなイメージがあるが、その辺ってどうなのか。どうなのか、ほかの方

を本当探さなかったのか。

小野塚市長

先ほどの答弁と繰り返になってしまうかもしれませんが、私が判断をして政策を進めていく、新しい部分については行ってまいります。一方で、継続性の部分について、確かに所沢市の職員は優秀だと思います。私から見ても優秀だと思います。ただ、副市長というのはそれを、各部を統括的に見ている職であります。その任は唯一、この4年間やっていたのは現中村副市長のみでありますので、その人と継続して私の新しくやっていくというところを共にやっていく、これが所沢市にとって私は市民の皆様にとって、最もいい形だと思い、中村副市長を選任させていただきたいと思った次第です。

石本委員

具体的に伺うが、藤本前市長の下で所沢市民を結構巻き込んで大きな騒ぎとなったっていうと、エアコン騒動だと思う。当然、エアコン騒動のときには、中村副市長は藤本前市長を支える側で、かなり中核的な立場にいたわけだが、まず市長はエアコン騒動とかを進めていた方を、それは私が市長になってから今後は私の命令聞くんだからいいんだっていうかもしれませんが、そういうことに対してそれを進めた方に対して、まずエアコン騒動ってどうお考えになったのか伺いたい。

小野塚市長

いわゆるエアコン騒動というものの問題を起こしたというのであれば

それは、前市長で、その前市長の指示の下で職員は動いていたわけです。中村副市長もそうであろうし、他の職員の皆様も前市長の判断の下でやっていたわけである。むしろ、前市長がこういうことをやりたいと言っているのに、それに反した職員がいれば、それはむしろ民主主義としておかしい形なわけでありまして、それは別に一緒にやっていたというよりかは、市長の判断の下で従ってやっていただけでありますので、そこに非は何もないと思います。

石本委員

株式会社埼玉西部食品流通センターの経営状況とか株式会社ところざわ未来電力の経営状況について、どのように報告を受けているのか。副市長は充て職で社長になる。社長であった中村副市長からどのような報告を受けているのか伺いたい。

小野塚市長

充て職の話はされましたが、それは中村社長としての判断によるものであり、今回は副市長の任を申し上げているため、ここに関しては別の話になるかと思います。

石本委員

副市長というのは、株式会社埼玉西部食品流通センターや株式会社ところざわ未来電力の社長になる。会社は所沢市が出資していて、市場などは昔経営が立ち行かなくなったことがあり、税金を投入したことがあったりした。また、株式会社ところざわ未来電力においても今の社会情勢などの



影響で経営が苦しくなっている現状がある。そういうことを踏まえて、社長だから副市長とは別ですよといった認識で副市長を任命するつもりなのか。事実上これ一体だと思うが、こういう報告を受けないで今回提案しているのか。

小野塚市長

充て職というのはいわゆる充て職であり、もし社長を変える必要があるのであれば、副市長人事とは別の話になるかと思います。報告は受けていますが、今後必要性があるのであれば、社長の任を変えればよいのではないのかと思います。

石本委員

大石副委員長が先ほど言った、前市長の政策を180度変えるということに対して、ためらいとかないのか。自分が今まで行政マンとしてやってきたことを、場合によっては否定される命令をされることもあるかと思う。普通の人間の心理ではなかなか全部を変えるわけにいかない。鬼畜米英からギブミーチョコレートに変わるみたいなことを私は180度全部変えられるんですっていうふうな意識でいらっしゃるということでしょうか。

中村副市長

先ほど市長からも話がありましたけれども、副市長というのは市長を補佐して市長の命を受けて政策と企画を司って、市の各組織が行う事務を監督する職ということでございます。これまでも言われてるように私は藤本

市政の下で12年間は仕えていた身です。それは副市長の職として職務をしっかりとやったということになります。今回、市長からぜひやってくれっというお話があって、私もすごく逡巡をしました。そのときに藤本前市長の下でやっていた私でいいんですかということをお願いしました。それでも、ぜひお願いしたいということもあって、いろいろ考えた中で、職員からもですね、やめないでやってほしいということもありましたし、私の近くの市民の方であるとか、関係団体の人とからもですね、やめるというようなお声がけはなかったということもありまして、逡巡して多分批判を受けるのを覚悟といたしますか、多分そういうことがある中でも、やはり市政を健全というか、円滑に進めていくため、市民のためもあるでしょうし、職員のためにもですね、あえてそういう批判を受ける中でもお受けした次第です。

石本委員

改めて中村副市長の履歴書を見させていただいたが、副市長今69歳なわけだ。そうすると、任期満了で普通73歳になる。別に73歳は今の時代若いとはいえ、役所全体の人事なんかもう、私は詰まるんじゃないかな、詰まった雰囲気っていうかなんていうか、分かりますか、何となく。今まではある程度大館前副市長とかほほどほどのところでやめて、後輩の部長たちが大体副市長に上がってきている。私も今回市政概要とかで調べたら、一度、中井市長時代に川橋幸子さんて後の民主党の参議院議員になった方だが、この人労働省のキャリア官僚だった方が当時の助役に選ばれている

が、歴代の部長から副市長に上がってきてるわけであって、人事が詰まる  
とか、そういう一番詳しいと思うが、その辺っていうのは考慮されなか  
ったんですか。自身がお受けするという事です。

中村副市長

今回の件については、市長からぜひ副市長を受けてもらいたいという  
お話がありましたので、それを受けていろいろ考えた末にですね、受けた  
という次第でございます。

大石副委員長

噂では1年で辞められて、後進に譲るのではないかって噂もあるが、あ  
くまでも噂でそのようなことはないのか。

小野塚市長

中村副市長が適任だと思っています。一方で、もし仮に適任ではないと  
思うときがありましたら、市長は任期中においても解任させることができ  
るとなっております。現時点ではもちろん最適だと考えておりますが、  
仮に市民の皆さんにとって最善の選択をさせていただきたいと思いを

中村副市長

副市長の人事につきましては、市長に決定権がありますので、特に何も  
言えないものでありますが、もし御議決いただければ、日々の行政過程に  
おいてしっかりと対応していきたいと思いを

石本委員

例えばミューズなんかもそうだが、副市長は双方代理の立場になると考

えられる。市長と市長が契約できないから、市長と副市長で契約をして委託をするという形にしているかと思うが、ミューズ以外で副市長が双方代理をしている職務はあるのか。

中村副市長

今は分かりません。

休 憩（午後 5 時 2 7 分）

（市長、副市長退席）

再 開（午後 5 時 2 8 分）

石本委員

先ほど副市長が分からないとのことだが、双方代理は幾つあるのか。これは結構大きいことだと考えられる。それぐらいの権限を持っているので、正確に確認したい。

市川総務部長

双方代理の件数は把握していません。

石本委員

件数はきちんと把握して答えていただきたい。確認だが、複数あるということでよいのか。

市川総務部長

感覚の話になりますが、私が長らく行政の現場で働いている経験上、双方代理については、ミューズはそうかもしれませんが、それ以外ではあま

り直面する機会がなかったかと思います。全てを把握するとなると、全庁的に照会をかけていかないと把握ができない状況でございますが、全体として相当数あるかと言われると、そういう感覚は持ち合わせてございません。

石本委員

確認だが、先ほど市長、副市長に聞いたが、少なくとも平成19年10月29日に当時の加藤副市長が辞職をされ、翌年の2月1日に西久保副市長が誕生したが、この間の3か月間は空白となっていることがあったが、今の地方自治法上においては、副市長が空白期間があるのは問題は生じないか。

市川総務部長

地方自治法上については、制度上特に変わってはいないため、欠員状態がよいとは言えませんが、現象では起こりえることだと認識しております。

石本委員

通年議会の時にも議論になったが、職務代理者というのは今は市長がいて、1番最初は副市長、2番目が経営企画部長だと思うが、3番目、4番目はいるのか。

市川総務部長

市長の職務代理となりますと、副市長であり、副市長が不在の場合は経営企画部長の順となり、そのあとは総務部長と行政組織の機構順となります。

す。

石本委員

先ほどの説明により、副市長が空白となっても成り立たないとはならないことが分かった。仮に、副市長が空白となっているときに、市長に何かあった場合においても、市政が動かなくなるということは現時点ではないということでしょうか。

市川総務部長

市長の職務代理は副市長となりますが、副市長の職務代理は市長が権限を持っているため、執行権ということであれば問題はありません。ただ、行政組織上は市長がいて副市長がいて、一般職の部長がそれを支えるという組織構成でありますので、副市長がいないということは組織として大変なダメージというか、組織力の低下は免れないものと考えています。

石本委員

所沢市の場合は、各部長が会議をする政策会議が市の中核的な政策の議論の場となり、副市長が取りまとめを行っていると思うが、仮に副市長が不在の場合は誰が司会を行うのか。経営企画部長なのか、経営企画部長がいなければ総務部長となるのか。

市川総務部長

政策会議ですが、こちらは市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、それから各部長という構成となっています。最終的な決断は市長となっており、会議の進行は通常は副市長が行い、副市長が不在の際は経営企画部

長が行うものとなっているかと思います。

石本委員

17年くらい前のことだが、所沢市政において、副市長空白3か月は結構大きな問題だったかと思うが、その時の内容について、後世のために部長方々に引継ぎされているということはないのか。

市川総務部長

当時副市長不在の空白期間について、その時にどうすべきかなどの引継ぎ事項はございません。ただ、制度上は先ほど申し上げましたとおりの組織運営となるものでございます。

**【質疑終結】**

休 憩（午後5時35分）

（休憩中に協議会を開催）

再 開（午後7時40分）

**【意 見】**

石本委員

ところざわ市民会議を代表して議案第52号に意見を申し上げます。  
小野塚市長は昨年10月の市長選挙で「所沢を変える時がきた」と12年間続いた藤本市政に変化を起こすことを訴え勝たれ就任しました。

この度提案された中村俊明副市長は平成23年10月に誕生した藤本

市政の下、経営企画部長、特別職の上下水道管理者、そして副市長と藤本市政の「どまんなか中の、どまんなか」、大黒柱的な役割を果たしてきた人物です。

副市長人事は事務方とは言え議会同意を求める案件です。今回の人事案件は異例にも委員会付託になりました。

繰り返しになりますが、所沢市では昨年10月に政権交代が起きました。政権交代を求めた市民の理解が本当に得られるのか疑問が残るので、もう少し調査研究をしたいので、継続審査を求めます。

佐野委員長

議案第52号については、継続審査を求める意見がありますので、まず、継続審査について、お諮りいたします。

議案第52号については、継続審査すべきものと決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手少数)

佐野委員長

挙手少数であります。

よって、議案第52号を継続審査すべきものと決することは否決されました。

中委員

採決方法について無記名投票を主張したいと思います。



**【無記名投票による採決】**

投票総数 7 票

そのうち、

有効投票 4 票

無効投票 3 票

無効投票中、

白票 3 票

有効投票中、

賛成 4 票

反対 0 票

よって、議案第 5 2 号については、同意すべきものと決する。

休 憩（午後 7 時 5 6 分）

（休憩中に協議会を開催）

再 開（午後 8 時 2 分）

**○視察について**

佐野委員長

公民連携の調査のため、狭山市にこここテラスの調査のため、5月中旬に視察を行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(委員了承)

佐野委員長

御異議なしと認め、そのように決しました。

なお、日時、場所等の調整につきましては、正副委員長に御一任願いた  
いと思いますが、これに御異議ありませんか。

(委員了承)

佐野委員長

御異議なしと認め、そのように決しました。

散 会 (午後 8 時 4 分)